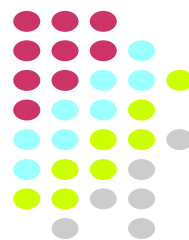


バリュー・ステーション



公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 会報 Vol.33 2016年3月号

2015年度後期 VEL認定試験が終了

2015年9月1日よりスタートした2015年度後期VEL試験が終了しました。実施状況は下記のとおりです。

●概況

受験者数	2,216名
合格者数	1,714名
合格率	77.3%
平均点	78.5点

(2016年2月29日現在)

●合格者数上位10社

法人名	合格者数
三菱電機	316
パイオニア	127
三菱電機エンジニアリング	119
日立システムズ	63
IHI	58
フジタ	55
タダノ	43
北川鉄工所	42
日立建機日本	42
三菱重工業	32

《2016年度VEL試験日程》

●前期日程

2016年4月18日(月)～7月31日(日)
受験申込:2016年4月1日(金)～

●後期日程

2016年9月1日(木)
～2017年2月28日(火)
受験申込:2016年8月19日(金)

外国人初のVESが誕生

昨年11月に実施したVES認定試験において、上海VE協会(上海VE普及推進委員会)の何 曉磊(カ ショウライ)氏が外国人として初の資格取得者となりました。

上海出身で来日して10年余りの何氏ですが、2014年よりVEを中国および中華圏に普及促進させるために上海VE協会が設立されて以降、当会と協力して様々な活動を展開しています。

新年度を迎えるにあたり『これを機に、中国でのVE普及にますます力を入れていきたい』と、強い意欲を示されていました。



上海VE普及推進委員会
何 曉磊氏

《2016年度CVS・VES試験日程》

●CVS

2016年10月1日(土) 13:30～16:30
申請受付期間 2016年8月1日(月)～9月8日(木)

●VEスペシャリスト(VES)

2016年12月3日(土)14:00～16:00
申請受付期間 2016年8月1日(月)～11月7日(月)

<https://www.sjve.org/>

2016年3月10日発行

目次:

2015年度後期 VEL認定試験が終了	1
外国人初のVESが誕生	1
上海VE協会との 提携事業合意書改訂	2
上海 第3回「VE基礎 セミナー」開催のご案内	2
本部・支部イベント 開催レポート	3
新入会員のご紹介	3
Webスクールのご案内	5
VEL限定フォローアップ 研修のご案内	5
日本VE協会・上海VE 協会相互入会制度	6
2016年SAVE大会 申込サイトがオープン	6
VE資料無料ダウンロード ページを公開	6
VE誌の発行についての お知らせ	6
本部・支部の事業活動 報告	7
支部・部会活動予定	9
VEブログ開設のご案内	9



日本VE協会と上海VE協会 提携事業合意書を改訂



何国成委員長(右)
宮本事務局長(左)



日本VE協会と上海VE協会関係者

VE普及事業提携合意から3年目に突入した日本VE協会と上海VE協会(上海VE普及推進委員会)は、これまでに実施した活動を振り返り、今後一層協力して中華圏におけるVEの普及促進を図るため、業務提携事業の整理と改訂を行いました。

2015年は、中国で13名のVEリーダー合格者が誕生しました。

さらに、中国の大手出版社と『利益を生み出す方程式』(瀬口龍一 前・

日本VE協会会長著)をはじめとした、VE関連図書出版について合意し、準備を進めています。

2016年2月29日、上海VE普及推進委員会の何国成委員長が来日され、日本VE協会事務所を訪問。改訂版の合意書に調印を行いました。

2016年度も、双方の、業務提携事業の目的を達成すべく、様々な活動を協力して行っていく予定です。

●2015年度に実施したおもな活動内容

時期	イベント	参加人数
3月	VE基礎セミナー	30名
7月	0 Look VE 指導(中国企業)	24名
	VE紹介無料セミナー	24名
	共同VE-WSS(日系企業)	18名
8月	VE基礎セミナー	12名
9月	VE・ESD体験WSS(上海市内小中学校)	24名
10月	第48回VE全国大会にてVE・ESDに関する発表	5名(発表者)
	日中交流会(日本企業・中国企業)	10名
11月	建設VEオンライン研修収録(中国政府機関)	20万人(受講対象者)
	VE基礎セミナー出張開催(日系企業)	14名
	ソフトVE指導(中国企業)	30名
12月	原価企画とVE指導(中国企業)	5名

中国・上海 第3回「VE基礎セミナー」開催のご案内

- 日程: 2016年4月12日(火)～13日(水)
- 会場: 中国・上海(上海大学・経済学院)
- 講師: 何 曉磊(カ・ショウライ) 上海VE普及推進委員会 副委員長 VES
- 主催: 上海VE普及推進委員会

本セミナーは、VEリーダー認定試験の受験資格要件を満たすもので、日本VE協会が主催する「VE基礎講座」の内容に準じて開催します。

参加費(税込)は、一般参加者4,999円のところ、上海VE普及推進委員会会員企業の方(日本VE協会の会員企業であれば入会および会費は無料)3,699元でご参加いただけます。参加費には教材費と2日間の昼食代が含まれます。

本セミナーの参加お申し込みと詳細に関する問い合わせは、下記まで。

xuman@tai-ze.com 徐曼(ジヨマン) 宛



講師を務めた黒川浩一氏



グループ演習の1コマ

東海地区で技術交流会 「アイデア発想技法を使い倒そう！」を開催

2月5日、西日本支部(東海地区)では定例のVE技術情報交流会を名古屋市内で開催しました。

この会合は、VEおよびVE関連技法から関心の高いテーマをセレクトし、演習と全体討議によって参加企業への導入展開を後押しするもので、13回目の開催となる今回はVE活動とは切っても切り離せない「アイデア発想技法」を取り上げました。

講師は、長年にわたって三菱電機で創造性研修を担当してきた黒川浩

一氏(CVS)が担当。アイデアを生み出す要素や創造活動を豊かにするポイントをはじめ、ブレインライティング法やNM法に代表されるアナロジーからの発想法についてわかりやすく解説いただきました。

東海地区では、このような会合を通じて各社のVE活動推進を積極的にサポートしております。皆様も日本VE協会の各種活動にぜひともご参加ください。

最新の製鉄技術と鋼材開発の取り組みを学ぶ ～東日本支部が新日鐵住金君津製鉄所の見学会を開催

2月8日、東日本支部では新日鐵住金君津製鉄所(千葉県木更津市)を訪問し、定例の事業所見学会を開催しました。

世界トップレベルの技術と生産量を誇る生産ラインを見学できるとあって、今回も30名近い関係者が参加。製鉄所の概要や鉄の製造工程に関する説明を受けた後、製鉄所のシンボルである巨大な高炉や製品の出荷ヤード(岸壁)などを窓越しに眺めながら東京ドーム220個分という広大な敷地をバスで巡回しました。真っ赤な鉄の板(スラブ)が薄く長く延ばされ、ロール状に巻き取られていく「熱間圧延」という工程では思わず立

ち止まり、そのスピードと迫力に圧倒されていました。

見学後はヒューマンエラーへの対応や材料の歩留まりなどについて活発な質疑応答が行われ、参加者からは『「鉄は国家なり」を実感することができた』『日本メーカーの技術力の高さを再確認できた』『環境対応の徹底ぶりに感銘を受けた』といった感想が聞かれました。

東日本支部ではこのような会合を定期的に開催し、メンバー相互の情報交流を積極的に進めています。皆様も東日本支部の各種活動にぜひともご参加ください。



参加メンバー

新入会員のご紹介

●正会員(法人)

(株)ソフィアコミュニケーションズ 様 (東京都港区、研修・教育)

●賛助会員(法人・事業所)

ナブテスコ(株) 鉄道カンパニー 様 (兵庫県神戸市、鉄道車両用機器製造・販売)

～会員制度をご利用ください～

▽詳細はこちらから

https://www.sjve.org/join/how_to_join



高橋支部長による概況報告



報告会の様子

エーアイ吉田社長による
特別講演

演習指導をする斉藤浩治氏



演習の様子

東日本支部が恒例の活動報告会を開催

3月7日、東日本支部(高橋均支部長)では2015年度の締めくくりとなる活動報告会を東京・渋谷の日本経済大学246ホールで開催しました。

この会合は、支部が設置している6つの部会(マネジメント部会・VE推進部会・マーケティング部会・R&D部会・ものづくり部会・社会インフラ部会)の取り組み内容を紹介し、あわせてメンバー間の情報交流や新規メンバーの登録促進をはかるために毎年この時期に開催しているものです。部会活動に対する評価が高まっていることから、今年も80名を超える関係者が一堂に会しました。

高橋支部長による概況報告に続き、『VE推進課題の解決に向けて～実践からの知恵の結集』『めざせVEイノベーション～新しいVE手法の探求と開発』など、日頃の研究活動の一端が報告されました。いずれも実務への応用展開を目的とした取り組みということで、興味を引いた参加者も多かったようです。

その後、エーアイの吉田大介社長が音声合成システム「AITalk®」の開発ストーリーや今後の可能性について講演。『東京オリンピックを機にさまざまなサービスに応用できそう』『事業展開や人材育成の面で参考にしたい』と大変好評でした。

東日本支部では、こうした取り組みを通じて参加各社のVE導入・活性化の支援と新技術の研究開発、さらにはメンバー相互のスキルアップを積極的に進めています。皆様も東日本支部の部会活動にぜひご参加ください。

“失敗の原因は「思い込み」にある” これならできる職場の業務改善VEを開催

1月14日、日本VE協会では“失敗の原因は「思い込み」にある”これならできる職場の業務改善VE」セミナーを協会大会議室(東京都世田谷区)にて開催しました。

本セミナーは、VEリーダーの方々への継続教育強化とVE実践支援を目的とする「VEL継続教育・実践支援プログラム」のコンテンツの1つ、VELフォローアップ研修です。今回は実際に業務改善を推進する立場にある方や課題を抱えている方など、製造業、建設業、サービス業などからVE有資格者が参加されました。

講師は、事業改善コンサルティングの実績を多数持つMind-J代表、CVSの斉藤浩治氏です。

組織・職場の問題、業務改善は何のためにするのか、なぜ改善がうまくいかないのかなどについての解説があり、反転機能系統図による問題解決手法を演習によって体験しました。グループ演習では、課題に対して熱心な議論が交されました。



澤口学氏による講義

論文執筆入門講座を初開催

3月8日、日本VE協会では「論文執筆入門講座」を協会大会議室（東京都世田谷区）にて開催しました。

今回初めての開催となる本セミナーは、VE研究論文を執筆する方々に向けて、論旨を正しく伝える論文の書き方を学んでいただくことを目的に開かれたものです。

講師は、VE研究論文の入選実績を数多く持つ澤口学氏（CVS、早稲田大学客員教授）です。

まず最初に澤口講師のVE研究論文への投稿実績の紹介があり、その中でも落選した事例に学ぶ敗因の分析について解説がありました。

次に過去から現在に至る論文募集要項をいくつか読み解き、各自論文テーマと概要を記述する演習を行いました。論文執筆上の留意点やコツ、骨子の構成についてなど、論文執筆に欠かせない事項の解説があり、時間の許す限り各自骨子作成に取り組みました。

受講者からは、「実体験に基づく内容で、論文を書くにあたり大変参考になった」などの感想が寄せられました。

..... インターネット通信講座 ◇Webスクール◇ 開講中

- 具体例でしっかり学べる改善マインド入門

3大管理技術IE、QC、VEのマインドを理解し、サービス分野やビジネス全般で活用するための基礎知識とセンスを身につけていただく講座です。テキスト、演習用ワークシート、オンラインテスト付です。

<https://www.emanabu.jp/course/info.php?id=46>

- Together, We can! 競争力を高める『共創』活動

これからのビジネスチャンスは、共創型コミュニティにあります。

チームでの創造活動、体系化された思考手順とは？

そのポイントをわかりやすく解説し、最終章では実際の活動事例を動画でご紹介します。

<https://www.emanabu.jp/course/info.php?id=70>

- VE事例動画集 ―第48回VE全国大会発表より―

2015年10月28日にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で「第48回VE全国大会」が開催され、企業でのVE取り組み事例や新しい視点でのVE活用などさまざまな発表が行われました。その中から5つの発表を収録し、事例動画集としてご提供いたします。

<https://www.emanabu.jp/course/info.php?id=78>

《VEL限定フォローアップ研修》

これならできるテアダウンの活用

～機能系統図との連携によって競争力アップ～

VEの実践を助けるツールとして“テアダウン”をご紹介します。

テアダウンとは何か、VE活動の中でテアダウンをどのように活用するかなど、演習を交えて理解を深めます。

● 日時：2016年4月22日（金）13:30～16:30

● 会場：日本VE協会

● 講師：三好 達夫氏 CVS 三菱電機株式会社 本社生産技術部

● 参加費：5,400円

● 締切：2016年4月15日（金）

▽詳細はこちらから

<https://www.sjve.org/5586>



【日本VE協会・上海VE協会】相互入会制度のご案内

日本VE協会は、上海VE協会と提携合意書を交わし、中華圏におけるVE普及推進活動を支援しています。中華圏の企業（現地企業、日系企業、外資系企業）へ上海VE協会入会を働きかけると共に、日本VE協会会員との交流や情報交換を促進するべく、相互入会制度を開始することとなりました。

- 日本VE協会の会員は上海VE協会の会員として、上海VE協会の会員は日本VE協会の会員として、無料で入会できます（日本VE協会の会員が上海VE協会に入会する場合、日本VE協会を退会しない限り上海VE協会費の支払いは不要です）。
- それぞれの協会が発信するVE関連情報が提供されます。
- それぞれの協会が主催するイベントに会員価格で参加できます。

現在日本VE協会としてご入会いただいている会員様で、上海VE協会に入会は希望される方は、下記までお問い合わせください。

【連絡先】「日本VE協会との相互入会の件」としてお問い合わせください。

上海VE普及推進委員会 副委員長 何 曉磊（カ ショウライ）氏

hexiaolei@tai-ze.com

▽上海VE普及推進委員会ウェブサイト

<http://www.ve-chinamoment.com/>

※ご注意：自動的に相互入会となるわけではなく、お申込手続きが必要になります。

2016年SAVE大会“The Power of Value”申込サイトがオープン

米国VE協会主催のSAVE Value Summit (VE国際大会)は今年はカナダVA協会との共催により開催されます。

- 会期：2016年6月5日（日）～7日（火）
- 会場：カナダ オンタリオ州 ナイアガラ・フォールズ Sheraton on the Falls
- 参加費：（日本VE協会会員優待価格）
早期 \$695 US (3/28まで) / 通常 \$795 US (5/26まで) / 当日 \$845 US (5/27以降～当日)

※大会専用ページでお申し込み後、支払いを行わないまま上記の期日を経過した場合、自動的に次の参加費区分の料金が適用されますので、ご注意ください。

▽大会専用ページにて、詳細をご確認ください（英語）

<http://www.cvent.com/events/2016-value-summit/event-summary-37716058c06d4ce4869ffb3f5a46e7b4.aspx>

VE資料無料ダウンロードページを公開しました

日本VE協会の研究会報告書や過去のVE資料など、無料でダウンロードいただけるコンテンツを集めました。

おもに過去の資料や支部の研究会等で検討したテーマをアウトプットとしてまとめた資料を掲載しています。今後もコンテンツを追加してまいります。どうぞご期待ください。

<https://www.sjve.org/freedownload>



バリュー・エンジニアリング誌の発行月と発行回数が変わります

会員および有資格者の皆さまにご愛読いただいております日本VE協会情報誌「バリュー・エンジニアリング」は、2016年度より年6回の発行から年4回（2月、5月、8月、11月）の発行とさせていただきますことになりました。

今まで以上に内容を充実させてまいります。引き続きご愛読、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

☆VE誌へのご意見・ご要望等がございましたら、下記担当者までお寄せください☆

hirayama@sjve.org（平山）



本部・支部の事業活動報告

(議事録サマリー)

●バリュー・マネジメント・アカデミー(VMA)

1.日時: 2015年12月24日(木) 14:10~17:10

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 7名

4.議事:

4.1 VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」

(1)委員から「リスクアセスメントのやり方」について説明

(2)議論

- ・リスク、安全領域でのVEについて
- ・信頼性のシンポジウムの発表論文応募をするつもりでアブストラクトにまとめではどうか。
- ・最初の発表は全国大会の方がよいのではないか。

(3)結論

- ・全国大会での発表を念頭にまとめることを検討、次回までにそのストーリー(企画)のたたき台を2名の委員と一緒に考えておいていただくこととした。

1.日時: 2016年1月28日(木) 14:25~17:55

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 8名

4.議事:

4.1 本会の活動方針について

(1)宮本事務局長から説明

(2)議論

- ・今後は、“事務局からテーマを挙げてもらおう”というやり方と“本日の方針に沿ったテーマを我々で決める”というやり方があると思う。
- ・両方とも必要。
- ・いま議論中のテーマは非製造領域でのVE普及と他団体との連携ができると思う。それらを念頭に置いて進めれば良いか?
- ・“VEとこれを結び付けたら本日の方針の中のここに位置付けることができる”と結論付けられたら、進め方等を考えれば良いと思う。

4.2 VEの裾野拡大「VEとリスクアセスメントの融合」

(1)2名の委員から、それぞれが考えた企画のたたき台について説明

(2)議論

- ・安全というのは何にでもあるので、裾野拡大の手段としては良いかもしれない。
- ・ただ、ソフトVEになるので機能定義が難しい。
- ・「シナリオや問題点を機能に置き換かえる」という考え方を入れられたら、役に立つかもしれない。
- ・安全全般ではなく、もっと対象を絞らないと。シナリオは安全の種類によって違う。
- ・どのような工種にでも使える標準的な手順が必要。
- ・テーマを仮に“リスクアセスメントに活用するVE”にした場合、アウトプットはどのようなイメージになるか?
- ・論文や手法としての提案等、いろいろあると思う。
- ・“リスクアセスメントのための標準的なVE実施手順”ではないか。

(3)結論

- ・もう少し検討を続け、もう一步踏み込んでみる。

1.日時: 2016年2月16日(火) 14:00~17:30

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 8名

4.議事:

4.1 第43回『本部企画委員会』での報告内容・資料

- ・昨年度の報告資料をベースに報告内容を検討し、報告資料を作成した。

4.2 VEの裾野拡大「VEとリスクアセスメントの融合」

- ・2名の担当委員から企画のアイデアについて説明の後、議論を行い、研究テーマになりそうなので議論を継続することとした。

4.3 今後の本会本部における研究開発体制

- ・宮本事務局長から、今後の本会本部での研究開発体制、今後の『公共事業のVM研究会』の位置付け及び『価値企画研究会』レポートの公表方法について、本会事務局としての考えを説明し、いずれについても了承された。

●第43回本部企画委員会

1.日時: 2016年2月26日(金) 14:00~17:00

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 9名

4.議事:

4.1 各委員会及び各支部の今年度概況と来年度計画について

- ・委員会又は支部の代表者として、各出席者から説明。その後、意見交換や質疑応答を行った。

4.2 本会の今年度概況と来年度予定について

- ・宮本事務局長から説明。その後、意見交換や情報提供を行った。



●第42回公共事業のVM研究会

1.日時: 2016年2月8日(月) 14:30~16:10

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 4名

4.議事:

4.1 公共事業におけるVEの普及方法について

(1) VEの適用対象

- ・維持管理への適用について
- ・広報業務への適用について

(2) VEの法制化

- ・米国で成功しているのは法律があるから。それを学ぶことで何かアイデアが出てくれば良い。
- ・世論や社会的背景、決め台詞があれば、発注者側も「どういうスキームになるのか話を聞いてみよう」ということになると思う。

- ・「VEをやると、こんなに時間を短縮できてコストも安く、住民を含めた合意形成もできる」というのを発注者側に示すことが、まず必要なのではないか。
- ・今は2020年の東京オリンピックに向けて早く確実に作ることが首都圏の発注者にとっては必要なので、それに触れないと厳しいと思う。
- ・“時間のロスはできてもVEは必要”という担保(法律?)があれば、皆がやると思う。

(3) 結論

- ・次回、今回欠席の2名からワークシートの簡素化について提案いただき、“米国連邦政府のVE法”の読み合わせをする。

●第103・104回 CVSフォーラム委員会

1.日時: 2016年1月15日(金) 14:00~17:00

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 12名

4.議事:

4.1 『CVSフォーラム』全体会合の開催について

- ・3月18日(金)に日本VE協会で開催することを決定。
- ・今年度の活動について報告し、今後の活動の進め方を参加者と一緒に考えたい。

4.2 商店主向け新VE資料「商店街の活性化プログラム」について

- ・ステップ1~4の目的、方法、手順及びワークシートについて、見直しを実施。
- ・シミュレーションを行う際の前提条件は、次回検討する予定とした。

4.3 2016年度の委員会開催日について

- ・4月から翌年3月までの委員会開催日を取り敢えず決めた。

1.日時: 2016年2月12日(金) 14:00~17:00

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 12名

4.議事:

4.1 『CVSフォーラム』全体会合について

- ・正式名称を“2015年度『CVSフォーラム』総会”とした。
- ・日時と場所は、次の通り。

① 日時: 2016年3月18日(金) 14:00~17:00

② 場所: 日本VE協会 大会議室

4.2 商店主向け新VE資料「商店街活性化プログラム」について

- ・ステップ1~4の目的、方法、手順及びワークシートについて、見直しを実施した。

4.3 2016年度の委員会開催日について

- ・本年4月から翌年3月までの委員会開催日を正式に決めた。

●第77回 VE誌編集委員会

1.日時: 2016年2月4日(木) 10:30~17:30

2.会場: 日本VE協会

3.出席者: 13名

4.議事:

4.1 事務局長からの報告・連絡事項

- (1) 上野初代会長ご逝去の件
- (2) 4媒体の再編と電子化の件
- (3) VE誌に対する期待
- (4) 事務局の活動状況

4.2 2015年度後半のVE誌編集実績の報告について

- ・2015年度後半のVE誌編集実績について事務局より報告された。

4.3 2016年度の編集企画案について

- ・各委員より、あらかじめご提出いただいた案について、それぞれ説明いただいた後、検討を行った。

- ・関連技法として「CMVE」(8月号、11月号)と「ソフトVE」(2017年5月号)を追加してそれぞれ依頼することとした。

- ・以上を踏まえ、2016年度の編集企画案を作成した。

4.4 VE誌への思いについて(どういう記事や内容を望むか、など)

- ・委員各自の意見をいただいた。

4.5 「日本におけるVEの発展史」

- ・「今までの蓄積をいかに次世代に引き継ぐか」をテーマに、編集委員で共同執筆する。

5. 次回会合について

・日時: 2016年7月6日(水) 13:30~17:30

・会場: 日本VE協会 大会議室

- ・議題: 2016年度前半の編集実績および見直しと検討課題について



支部・部会活動予定(3月・4月)

●東日本支部

●全体行事

1.2015年度活動報告会(一般公開)

- ・日時:3月7日(月)13:30~17:00
- ・会場:日本経済大学大学院246ホール
(東京都渋谷区)
- ・内容:①全6部会の活動報告
②特別講演
(株式会社エーアイ・吉田大介社長)

●マネジメント部会(主査・名古屋純也/福原政則)

1.第118回研究会議

- ・日時:3月17日(木)14:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:①2016年度の活動計画について
②ビジネスモデルの研究について
③調査企業候補の検討

2.第119回研究会議

- ・日時:未定
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度キックオフ

●VE推進部会(主査・大久保匠)

1.全体会議

- ・日時:4月12日(火)10:00~11:30
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度キックオフ

2.VE普及推進研究会(A分科会)

- ・日時:4月12日(火)12:30~14:45
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:VE普及推進を目的とした課題の解決方法の研究

3.VE実践・活用研究会(B分科会)

- ・日時:2月9日(火)14:00~17:00
- ・日時:4月12日(火)15:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:VE実践および活用を目的とした課題の解決研究

●マーケティング部会(主査・沼澤朋子)

1.2015年度第12会合

- ・日時:3月30日(水)14:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:『多様化する価値の研究』まとめと
2016年度活動の検討

2.2016年度第1会合

- ・日時:4月27日(水)14:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度キックオフ

●R&D部会(主査・福田浩章/三好達夫)

1.全体会議

- ・日時:4月19日(火)13:30~14:30
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度キックオフ

2.VE7つ道具研究チーム(リーダー・吉見三郎)

- ・日時:3月16日(水)10:00~13:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:“だれでも解決7つ道具”のまとめ
- ・日時:4月19日(火)10:00~12:30
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:“VE有識者7つ道具”の計画検討

3.差別化機能の研究チーム(リーダー・野嶋泰資)

- ・日時:3月16日(水)14:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:差別化機能抽出方法の検証、今年度振り返り
- ・日時:4月19日(火)14:30~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度の活動計画検討

●ものづくり部会(主査・佐藤尚吾)

1.座学例会

- ・日時:4月20日(水)13:30~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:2016年度キックオフ

●社会インフラ部会(主査・薄衣光明)

1.企業ケース検討会

- ・日時:3月16日(水)13:00~14:50
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:ポーター賞分析

2.建設VE研究会

- ・日時:3月16日(水)15:00~17:00
- ・会場:日本VE協会 大会議室
- ・内容:公共工事の設計VEガイドラインの作成



●西日本支部・東海地区

●中部建設VE研究会(主査・日比 恒)

1.第242回研究会

- ・日時:3月15日(火) 14:00~17:00
- ・会場:フジタ名古屋支店
- ・内容:今期活動のまとめ

2.第243回研究会

- ・日時:4月中旬
- ・会場:未定
- ・内容:2016年度キックオフ

●西日本支部・関西地区

●経営革新を生み出す生き生きVE研究会

1.第118回研究会

- ・日時:3月14日(月) 13:00~
- ・会場:ニチュ三菱フォークリフト(株)会議室
- ・内容:VE研修教材の検討

2.第119回研究会

- ・日時:4月18日(月) 13:00~
- ・会場:三菱電機(株)伊丹製作所会議室
- ・内容:VE研修教材の検討

●VEツール研究会

1.第94回研究会

- ・日時:3月22日(火) 13:00~
- ・会場:三菱電機(株)伊丹製作所会議室
- ・内容:機能分析手法の研究

2.第95回研究会

- ・日時:4月25日(月) 13:00~
- ・会場:西日本旅客鉄道(株)会議室
- ・内容:機能分析手法の研究

●つかいやすいTRIZ研究会

1.第47回研究会

- ・日時:3月16日(水) 10:00~
- ・会場:マツダ(株)会議室
- ・内容:TRIZ入門研修の検討

○ VEブログを始めました ○

協会事務局スタッフによるブログを開設いたしました。現在、『(ゆ)ブログ』と『VE協会ウェブサイトのワンポイント・レッスン(うえさと)』を掲載中です。ぜひ一度VEブログをご訪問ください。

<https://www.sjve.org/blog>



2.第48回研究会

- ・日時:4月13日(水) 10:00~
- ・会場:三菱日立パワーシステムズ(株)会議室
- ・内容:TRIZ入門研修の検討

●実践原価企画研究会

1.第94回研究会

- ・日時:3月16日(水) 13:00~
- ・会場:(株)ノーリツ会議室
- ・内容:原価企画Q&Aの検討

2.第95回研究会

- ・日時:4月20日(水) 13:00~
- ・会場:未定
- ・内容:原価企画Q&Aの検討

●サービス領域でのVE適用方法研究会

1.第33回研究会

- ・日時:3月8日(火) 13:30~
- ・会場:西日本旅客鉄道(株)会議室
- ・内容:サービス領域でのVE適用実施手順の検討

2.第34回研究会

- ・日時:4月5日(火) 13:30~
- ・会場:イオンディライト(株)会議室
- ・内容:サービス領域でのVE適用実施手順の検討

本紙バリュー・ステーションは、今回号をもって発行終了とさせていただきます。これまでお読みいただき誠にありがとうございました。日本VE協会の活動に関する情報は、協会Webサイト、VE情報メール(メルマガ)等でご案内してまいります。引き続き弊会各種事業をご活用くださいますようお願いいたします。

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル6階

電話 03-5430-4488

発行人 宮本彰夫

FAX 03-5430-4431

編集 小野玲子

Email: info@sjve.org

最新情報はホームページを
ご覧ください。

<https://www.sjve.org/>